

世田谷区における中小企業の景況

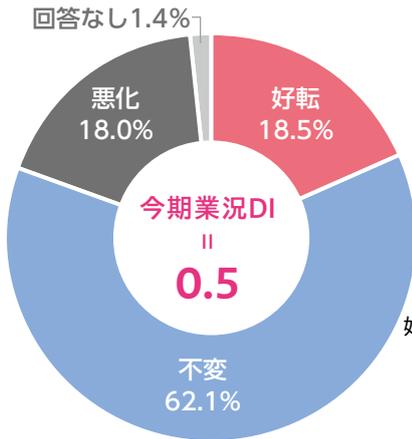
東京都・全国との比較等は東京商工会議所
世田谷支部HPに掲載しています。
右記二次元コードよりご覧いただけます。



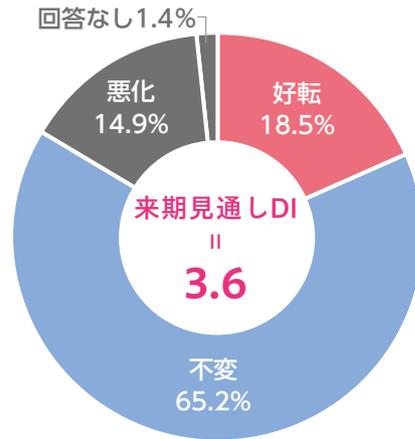
業況

今期(2025年1~3月期実績)の業況DIは、+0.5ポイントで前期から▲7.2ポイント悪化した。
来期の業況見通しDIは+3.6ポイントとなり、前回調査より▲8.5ポイント悪化する見通し。

今期の業況(前期との比較)



来期の見通し(今期との比較)



DI 0.5=
好転18.5%-悪化18.0%
※前回調査(7.7)から
7.2ポイント悪化

DI 3.6=
好転18.5%-悪化14.9%
※前回調査(12.1)から
8.5ポイント悪化

DI(Diffusion Index)とは？

DIとは、各設問の項目について、「増加」「好転」したとする企業の割合から、「減少」「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値です。したがってDIがプラスを示している場合は、全体として「増加」「好転」とする企業が多く、景気(またはそれぞれの要素)が上向きの傾向にあることを示します。逆にマイナスを示している場合は、景気が低迷の傾向にあることを示します。

DI = (景況判断指数)

景気が「好転」したと回答した企業の割合

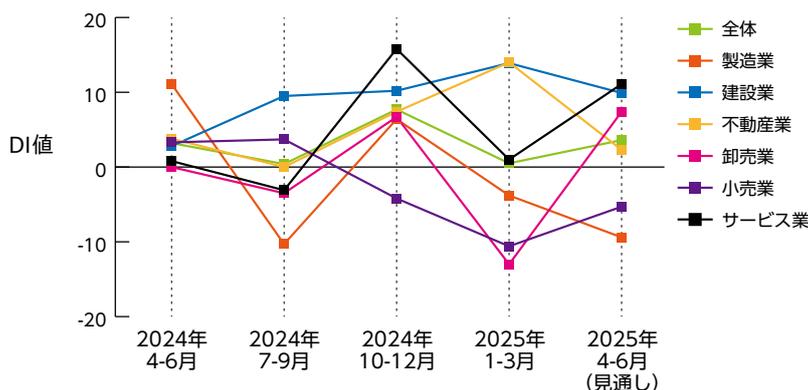
マイナス

景気が「悪化」したと回答した企業の割合



業種別の動向

今期の業種別DIは「不動産業」+14.0(前期比+6.6)、「建設業」+13.9(同+3.7)の2業種でポイントが改善したが、それ以外は悪化した。大きく悪化したのは「卸売業」▲13.0(同▲19.7)、「サービス業」+1.0(同▲14.8)、「製造業」▲3.8(同▲10.2)の3業種で10ポイント以上減少した。来期は「卸売業」+7.4(当期比+20.4)、「サービス業」+11.1(同+10.1)は10ポイント以上増加する見通し。



業種	2024年4-6月	2024年7-9月	2024年10-12月	2025年1-3月	2025年4-6月(見通し)
全体	3.2	0.4	7.7	0.5	3.6
製造業	11.1	▲10.3	6.4	▲3.8	▲9.4
建設業	2.8	9.5	10.2	13.9	9.9
不動産業	3.8	0.0	7.4	14.0	2.3
卸売業	0.0	▲3.5	6.7	▲13.0	7.4
小売業	3.3	3.7	▲4.2	▲10.6	▲5.3
サービス業	0.8	▲3.1	15.8	1.0	11.1